

農業委員会だより

不作付地の改善計画 達成期限がせまっていますか！

平成22年に実施された米の戸別所得補償モデル事業では、不作付地（調整水田、自己保全管理など）がある人には、達成予定年を記載した「調整水田等の不作付地の改善計画」を提出していただいた場合に限り、交付金を交付しています。

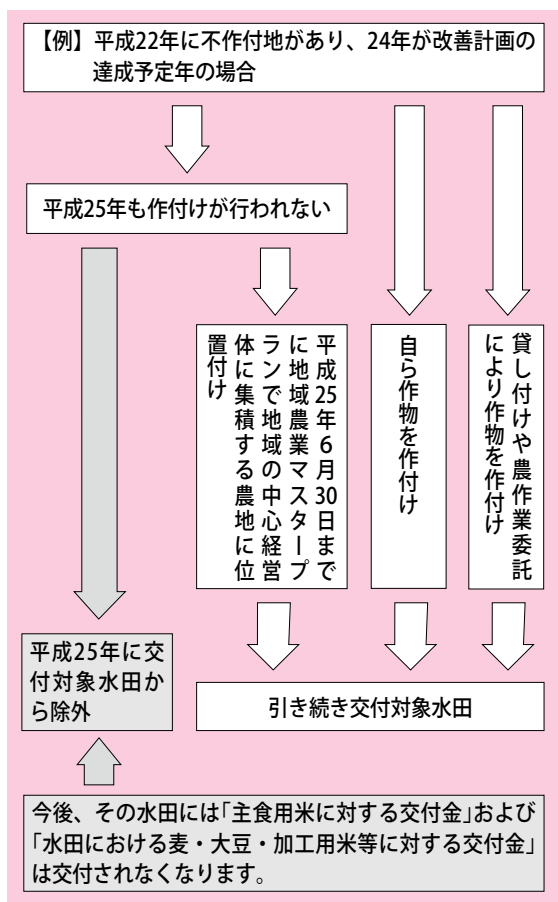
改善計画は、通常3年間で改善する計画となっているため、22年に提出した計画は、多くの場合、24年が達成予定年となります。

達成予定年の翌年（平成25年）も作物の作付けが行われず不作付地のままの場合、「米の戸別所得補償交付

金」水田活用所得補償交付金」の交付対象から除外されることとなります。

一度、交付対象水田から除外されてしまうと、今後、作付けを再開しても交付金の交付対象とはなりません。また、ご自身以外の人に利用権設定や農作業の委託をしても交付金の対象とはならないことから、引き受け手がなくなることが懸念されます。このため、将来の農地集積に支障をきたすだけでなく、耕作が放棄され、周辺の農地を耕作する人に多大な迷惑を掛けることになりかねません。

戸別所得補償制度の交付対象水田から除外されないよう改善計画どおりに不作付地を改善することをお勧めします。（左図参照）



「農業施策」をテーマに 農業者等との意見交換会

市農業委員会は1月31日、江釣子地区交流センターで「農業者等との意見交換会」を開催し、農業関係者や市民など61人が参加しました。この意見交換会は毎年開催しており、今回は市の農業施策をテーマに行いました。

始めに、八重樫彰会長から昨年10月に市に提出した「平成25年度北上市農業施策に関する提言書」の概要について説明が行われた後、市が昨年12月に策定した「きたかみ地域農業マスタープラン」と本年度中に策定を予定している「きたかみ農業ビジョン」について、市農政課から説明がありました。

参加者からは、「このプランとビジョンを今後どのように進めていく



農業者等との意見交換会で、地域が抱えている問題を話す農業者

のか」地域特性を活かした農業に対する具体的な支援策は何か」などの質問のほか、耕作条件が悪い農地集積に係る諸問題の指摘や6次産業化に対する一層の支援要望などを望む活発な意見交換が行われました。

市農業委員会では、今回出された意見や要望を今後の農林業施策に反映させるため、市に提出する提言書の参考にすることを考えます。

食文化の啓蒙普及などを学ぶ 農業委員研修会を開催

市農業委員会は12月21日、地場野菜を原料とした漬物「金婚漬」で有名な花巻市の「株道奥」代表取締役会長の阿部美子さんを講師に迎え、農業委員の研修会を開催しました。



「自信と信念を持ってお客様に商品を紹介しないと長続きしない」と話す阿部さん

阿部さんは、「農村における食文化と元気な高齢化社会のために」と題して講演を行い、農村女性の地位向上と小遣い稼ぎから始めた会社起業の経緯や、時代とともに変化する消費者ニーズに合わせた商品開発の

■審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段 審議件数 下段 面積(m ²)		
	12月	1月	2月
3条	2 42,216	3 4,430	6 17,317
4条	1 716	0	1 528
5条	6 1,857	10 6,203	14 12,125
適用外証明	5 1,809	1 750	1 625
農用地利用集積計画	75 468,652	57 311,259	101 687,038

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合、受け手側が大規模農家の場合

風評被害にも負けず

「和牛繁殖」一筋!

高橋 勇さん(65歳・和賀町岩崎)



高橋さんは、和牛の繁殖を始めて50年のベテラン農家です。昨年10月に開催された第10回全国和牛能力共進会に岩手県を代表して出品し、系統雌牛群の部で優秀賞を受賞。普段の飼養管理の努力が認

められました。東日本大震災以降、放射性物質による汚染被害で苦境の畜産事業ですが「今までもBSEや口蹄疫などの難病や風評被害との闘いの連続でした。子牛が逆子で高額な親牛と共に事故死するなどたくさん苦労をしましたが、こうして全国共進会で入賞できてとてもうれしいです」と満面の笑顔で語りました。

高橋さんは、自作田の稲わらを全て牛に与えるほか、近隣からも稲わらを調達し和牛の繁殖に精力的に取り組んでいます。また、北上地域和牛繁殖部会の役員としても先頭に立って活動しています。とても厳しい畜産の環境ですが、笑顔で頑張る姿に頼もしさを感じ、更なる活躍を期待しています。

(農業委員 菊池 正志)

25年度農作業労賃 標準額据え置きを決定

取り組みを話しました。また、高齢化時代の健康を守る食べ物として雑穀を紹介。雑穀は、暗い、貧しい、美味しくないというマイナスイメージを持たれるが、その栄養価の高さから白米に混ぜるなど健康食として食べることを勧めながら、「元氣な高齢化社会のため、いつでも目標を持ち、何かないかと頭の中で考えながら毎日を送ることが大切」と話しました。

平成25年度の農作業労賃標準額は、2月22日の農業委員会農政部会で審議され、24年度に設定した標準額を据え置くことに決定しました。

農作業労賃標準額は、3月末に農業委員を通じて各農家の皆さんに配布するとともに、市のホームページに掲載します。

安心して豊かな老後を 農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、自らが納めた保険料とその運用収入を将来受給する年金の原資として積み立てていき、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金です。そのため、加入者や受給の数に影響されない安定した制度となっています。

編集後記

農業者年金に関するお問い合わせは、農業委員会事務局または最寄りの農協までお願いします。

農業委員会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。私ども農業委員として3年の任期の間、編集委員として活動し、多くの市民に愛される紙面づくりに努力して参りました。この間、農業委員会だより全国コンクールで全国農業新聞賞に2度輝き、この経験を誇りに3月末をもって退任いたします。今後も変わらずご愛読くださるようお願い申し上げます。退任のご挨拶といたします。

(編集委員長 及川 定美)



及川編集委員長(前列中央)ほか、編集委員の皆さんお疲れ様でした